

様式 F-7-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成23年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成23年度～平成25年度
5. 課題番号

2	3	7	0	0	8	6	1
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題 フェアトレード製品の公正性を探る－開発途上国の産業階層別労働者の不公正構造の解明

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
3 0 5 3 3 0 0 4	サカエ ミツコ 榮 光子	人間生活文化研究所	助手

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

多くの消費者が抱く「フェアトレード製品の公正性とは何か」という問いに対して明確な解を与えるべく、本研究では、開発途上国の生産・製造に従事する産業階層別労働者のフェアトレード観、労働と生活の環境モデル、現在直面する不正さの構造を実証的・計量的に明らかにし、公正性の評価軸を作成することを目的とし、平成23年度の研究計画に従い、(1)～(6)を実施した。調査場所はスリランカ民主社会主義共和国の、農地、繊維製造工場、陶器工場、ダンボール工場等である。(1) 科学的手法を用いて産業階層別労働者の労働環境の測定と労働強度の計量をした。【労働環境の測定】科学的測定項目は①粉じん等の空気の汚れ、②採光・照明、③臭い、④温度・湿度、⑤水質の5項目である。参与観察による測定項目は⑥設備（インフラ含）、⑦人間工学に基づいた作業備品の使用と設備の有無、⑧水飲み、手洗い場、排水、トイレ等の管理、⑨ネズミ・衛生害虫等の4項目であった。【労働強度の計量】心理-精神的作業評定尺度、生理-肉体的作業強度の算定について、質問紙調査法を用いて行った。(2) 文献調査法を用いて労働者の基礎データ（物価、収入、失業率、教育・医療等の社会保障制度、宗教、人種、労働法等の情報）を収集した。(3) (1) (2) で得られたデータをもとに、産業階層別労働者の一般的な労働・生活モデルを作成した。(4) 生産・製造に関わる専門家への聞き取り調査を行い、フェアトレード製品の流通経路、小売価格、販売価格を解明した。(5) 聞き取り調査法を用いて「労働者のフェアトレード観」を調査し、質問紙調査作成のためのデータ収集をした。ランダムサンプリングした労働者への聞き取り調査を行い、質問項目作成のためのデータを収集した。(6) (5) で得られた結果を基に「労働者のフェアトレード観」の質問紙を作成し、質問紙調査を実施した。